



“I J U 応援団だより” では、I J U 応援団のみなさんを掲載しています。

今回は、阿賀^{あか}ふれあいセンター^{かんりくみあい}管理組合です！！

+++++



美和町阿賀地域ってどんなところ??

美和町阿賀地区は、人口 195 人、世帯数 94 戸で美和町の北西部、本郷町の東に位置しています。清流錦川の支流のひとつ、生見川上流にある人情豊かな住みよい地区です。

地域の高齢化も進んでいますが、阿賀ふれあいセンターを中心に、心のかよう古里をめざし、様々な取組みを行っています。

+++++

～ 阿賀ふれあいセンター管理組合からのメッセージです ～

旧阿賀小学校跡地へ、平成 14 年、都市（町）～村（農村）体験・交流施設「阿賀ふれあいセンター」が建設され、平成 16 年度より地元で管理組合を設立、運営して 4 年経過しました。効率的な運営を目指して、広報誌の充実、昨年開設したホームページ等で減少傾向にあった体験者数も、平成 20 年度は前年度より倍増し、夏のキャンプなどセンターの利用者も順調に回復しています。昨年 7 月には滋賀県からコーラス隊約 50 名が 2 泊 3 日で合宿し、神楽団、地元コーラスグループも出演した賑やかな歓迎会を行いました。また、やましる商工会と共同開発した「マロン鍋」の販売を、岩国祭、錦帯橋もじまつりなどで 7 回行って大変好評でした。

さらに、このセンターの本命である体験交流「豆腐・蒟蒻・餅・味噌作りと蕎麦打ち」に加えて、新たなイベントを企画して利用者増に努めてきました。阿賀小学校卒業生 65 歳以上の同窓会「故郷交流会」開催もその 1 つです。東京、名古屋、広島、岩国より出席者は約 140 人で、50 年ぶりの感激の再会でした。

阿賀地域は、岩国市、廿日市市内へ約 30 分、病院、大型スーパー、ホームセンターへ車で約 10 分の静かな自然豊かな農村地帯です。田、畑付きのきれいな空き家があります。のんびり田舎暮らしを楽しみながら、野菜や米を作って生活したい人を歓迎しています。体験交流にも是非参加してください。



～ 体験交流「豆腐作り」～



～ ふるさと交流会～



～ 岩国桜祭り～

新規登録された応援団を紹介します！！

『岩国市錦町向峠土地改良区』
(錦町向峠)



向峠田園風景

『里山ひよじ村』
(周東町樋余地)



ピオトープ



UターンおよびIターン体験者をご紹介します！！



佃 智恵美さん
岩国市美和町在住
平成 17 年三次市の研修から Uターン

私が今経験していることは、農業ということで生活も労働もある程度厳しいものがありますが、自然とのふれあいや、厳しさ故にやりがいもあります。体を動かすと食事が大変おいしく感じます。

地域の人たちと、目標を持って1つのことに取り組む楽しさがあります。畑、草刈りなどの作業は大変ですが、地に足が着いていると実感することが出来ます。



柴田 康弘さん
岩国市周東町在住
平成 19 年旧岩国市から Iターン

～ 第 3 回 『IJU (移住) 応援団交流会』 開催報告 ～

平成 21 年 6 月 10 日 (水) 周東町瀬越の農家民宿「かじ屋」で、第 3 回応援団交流会を開催しました。『移住をすすめるためのこれからの取組みについて』をテーマに、出席者のみなさんから取組み発表、昼食をはさんで問題点などについて意見交換をしました。「移住者が慣れるために体験できる短期間の田舎暮らし教室のようなものの開催に取り組むことを地域に提案したい。」「過疎化対策のメニューを作るべきである。」「住みよい地区にしようという意図で、遊農地を無償で貸与している。」「若い人たちが生活できる場にしたい。」「家、農地、農機具などは地域で用意できるのではないかと。移住者は最初は借りるとかできれば、採算が取れる農業を考えていける。地域として空き家、空き農地などの準備をするべきである。」「自宅を開放して、農業体験をしてもらっている。」など、それぞれの立場から活発な意見が交換されました。



交流会風景



酒蔵見学

編集後記：

空き家や空き農地の発掘、移住者を迎える取組みなど、一つ一つ問題を解決しながら、自然豊かな地域が元気になれることを望んでいます。

次回発行予定は、10月です(石高)。